

大谷大学 真宗総合研究所 一般研究加来班 国際シンポジウム

「東アジアの近代化 における仏教と西洋 哲学の影響関係 —中・朝・日の思想家たちの 証言—」

日時

**2021年2月20日
9時50分～18:00**

(講演25分/質疑応答15分)

※質疑応答のみ同時通訳がつかます。

場所

オンライン開催 (ZOOM)

申し込み方法

事前申し込み制

seab0220@gmail.comまでメール
をお送りください。(2月19日締切)

10:00 - 10:40

林鎮国

(台湾・政治大学)
「逆向きの教相判釈
—牟宗三哲学再考—」

10:40 - 11:20

李海涛

(中国・山東大学)
「韓龍雲の『仏教維新論』とそ
の近代意識」

11:30 - 12:10

川邊雄大

(日本・日本文化大学)
「幕末明治期における真宗僧
とキリスト教・東洋学・西洋哲
学—松本白華を例として—」

13:30 - 14:10

長谷川琢哉

(日本・東洋大学)
「東アジアにおける井上円了の
影響関係について」

14:10 - 14:50

龔隼

(中国・広州中山大学)
「鈴木大拙と近代東アジアに
おける大乘論述の確立—英
訳版『大乘起信論』(1900
年)・『大乘仏教綱要』(英
文1907年)を例として」

15:00 - 15:40

浦井聡

(日本・大谷大学)
「浄土が〈ある〉ことをめぐって
—田辺元と武内義範を手が
かりに—」

15:40 - 16:20

廖欽彬

(中国・広州中山大学)
「仏教とニヒリズム—阿部正
雄を中心に」